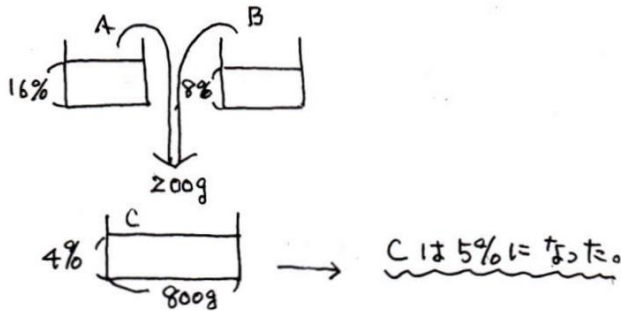
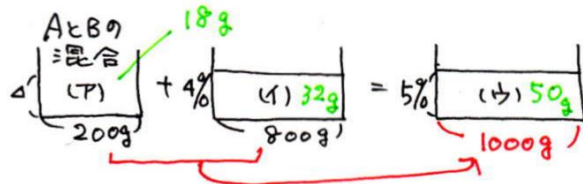


容器Aには16%、容器Bには8%、容器Cには4%の食塩水が800g入っています。いま、容器A、Bから合わせて200gをくみ出し、容器Cに加えたところ、容器Cの濃さは5%になりました。容器Aからくみ出した食塩水は何gですか。

まず「ヒーカー図」を書きます。



すると次のようになります。



面積図を書く必要はありません。

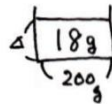
塩の量を出していきます。

(A)の塩 --- $800 \times 0.04 = 32$ (g)

(C)の塩 --- $1000 \times 0.05 = 50$ (g)

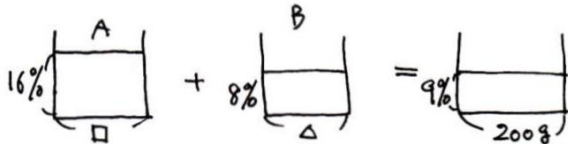
→ (A)の塩は $50 - 32 = 18$ (g)

(A)の%は

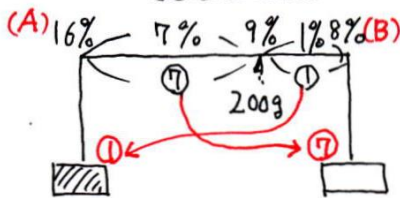


$18 \div 200 \times 100$ ← %だから $\times 100$ だと便利。
 $= 18 \times 100 \div 200$
 $= 9$ (%) ----- AとBの混合の濃度。

すると



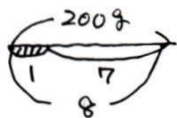
これは「てんびん法」または「面積図」です。



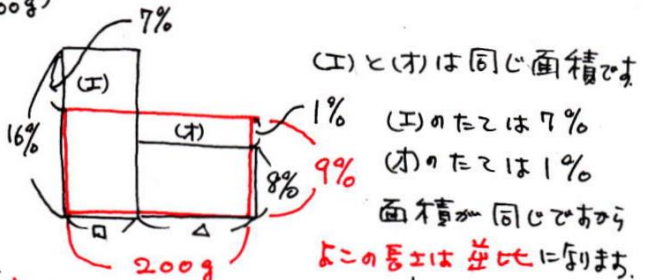
200gを1:7に
 比例配分します。

$200 \times \frac{1}{8} = 25$ (g)

--- Aからくみ出した塩量



25g



(A)と(B)は同じ面積です
 (A)のたては7%
 (B)のたては1%
 面積が同じだから
 この長さも比に利します。

てんびん法の方が
 簡単でした!!

